

## わたしの選択 Interview

岐阜県で経営していた事業をたんだらうとその年に、友人が中山道・醒井宿に併む取り壊し寸前だった古民家を手に入れました。その友人から「この古民家を使って何か一緒にやらない?」と誘われたのが移住の一番のきっかけでした。田舎に移住したいという思いと当時から狩猟に興味があったので、ちょうど良いタイミングでした。

米原に移住して一番よかったのは、狩猟ができる環境が手に入つたことです。岐阜で狩猟免許を取得する考えもあったのですが、米原に移住することが決まっていたので、せっかくなら滋賀県民として免許を取得したいと思い移住後にしました。現在は地元の猟友会に参加して活動しています。

あとは釣りですね。夏になれば鮎釣り、冬の時期にはワカサギと多様な釣りを楽しんでいます。状態の良い物が釣れたら、丁寧に下処理をして夕食として提供することもあります。

米原に来てから、地域の方・お客様との交流を通じていろいろなことに興味が湧いてきました。また、小さな頃から趣味だった釣りでの経験が、今の自分の仕事や暮らしにも活かされていると感じています。

私にとってはやりたいことや挑戦してみたかったことが詰まっている環境なので、これほど素晴らしい環境はないと感じています!なので、私と同じような趣味があつたり、自然とのふれあいが好きな方には特におすすめします。



ゲストハウス店長  
【岐阜県→醒井】1ターン  
米原歴:7年目  
白井 新人さん

*Profile*  
清流・地蔵川に咲く水中花「梅花藻」が人気の観光地・米原市醒井にあるゲストハウス「居醒庵(いざめあん)」の店長として、宿泊業務のほか料理も担当しています。



掲載しきれなかったインタビューを、WEB記事にしました。

誌面に収まりきらなかった、移住者の皆さんのインタビュー全文を、WEBサイトにも掲載しています。また、これまでのインタビュー記事とともに、現地見学イベント「移住見学ホリデー」のレポートも公開中!

◎ ジコチュー暮らし、米原市  
まいばら移住の窓口



移住者と地域住民のチャレンジ! //

## Cafe Lumière

カフェルミエ

2020年に市内へ移住した山城真理さん、地域のまちづくり団体の一員として、近江長岡駅でカフェの運営に挑戦中!

最新情報はInstagramをチェック!

QR code

米原市への移住や開業を希望される方に向けた

オンライン窓口を開設しました!



### 友だち募集中

米原市への移住を促進するためのイベントや支援制度など関連情報を発信しています。

@596kbhdu

ジコチュー暮らし、米原市 | 検索

【運営】米原市地域おこし協力隊&合同会社ゴチャトレーイング 【委託元】米原市



移住に興味がある人

- 地方移住を検討中
  - 米原市に住んでみたい
  - 地方で起業を考えているなどなど...
- LINEで相談!
- 紹介
- 空き家や移住補助制度の紹介
  - 人や地域の紹介
  - お仕事の紹介などなど...



# 米原暮らしを決めた

## わたしの選択 Interview

たまには、話してみませんか?

「なぜ、米原市に移住し、暮らすことを選んだのか?」  
その答えを、移住の方々に聞いてみました。  
自分や家族のしあわせを  
考えた時に感じた米原の魅力。  
そんな米原や自分たちの将来の事を  
たまには家族で話してみませんか?

取材・編集  
空家再生みらいづくり隊  
合同会社ゴチャトレーイング

協力  
米原市まち整備部シティセールス課

公式サイトにて  
インタビューの  
全文を掲載中▶



はかどるまいばら

検索



## わたしの選択 interview



シフォンケーキカフェ
【東京都→甲津原】Iターン
米原歴: これからスタート!
武田 紀仁さん 渚さん

プロフィール
甲津原でシフォンケーキを中心とした カフェをオープンするお二人。 米原市内のマルシェやイベントへの出 店を通じて、地域の方々・お客様との 繋がりを広げています。



地域おこし協力隊
【群馬県→上板並】Iターン
米原歴: 2年目
鯉登 千尋さん

プロフィール
2023年に地域おこし協力隊として米原市に移住し、伊吹山の自然や文化を守りファンを増やすことを目的とした「伊吹山レンジャー」として活動しています。登山客へのローカルルールの周知や植生復元プロジェクトなどを行なながら、日々の業務に取り組んでいます。

私たちの移住の絶対条件は、水がきれいな場所で暮らすことでした。東京から滋賀への移住は、最初は2段階移住を考えていた、まずは大津や守山に住み、次の段階で米原や長浜に移ろうと思っていたんです。でも、滋賀県の移住体験プランで米原市を訪れた時、自然の美しさや地域の人々の温かさに触れて、「最初からここに住んでもいいんじゃないか?」という気持ちになりました。改めて拠点探しで米原を再訪した時、甲津原の棚田や川の美しい景色に惚れ込んでしまって。これを機に移住することを決めました。

今は、その甲津原で古民家をリノベーションして、自宅兼カフェのオーナーに向けて準備をしています。地域の方々も、とても親切に気さくに接してくれます。近すぎず遠すぎずのちょうどいい距離感が心地良いです。

米原市は、働き方の自由度が高く、在宅ワークや自営業の方にはぴったりの場所だと思います。関西や関東へのアクセスが便利で仕事にも影響は少ないと感じています。当初移住先として大津を候補に入れていたのも、仕事に影響がないようにと考えていたからでした。カフェの他にも在宅ワークをすることがあるので、ネット環境や郵便などのインフラ系も心配していましたが、不便を感じることなく生活できています。

東京のバス会社に勤務後、群馬に戻りフリーのバスガイドとしてお客様の旅をサポートしてきました。バスガイドの仕事はわたし自身にすごく合っていて日々楽しくさせていたいだいていたのですが、コロナ禍に入り旅行業全体が大打撃。ガイドとしての営業ができない現状に様々に憤りを感じていました。これからの働き方について自問自答していく中で、地域おこし協力隊の仕事に興味を持ち、自分ができることと照らし合わせていった中で、米原市の「伊吹山みらいづくり隊」の募集を見つけました。

登山やキャンプが趣味だった私にとってはとても理想的な仕事でしたし、バスガイド時代に伊吹山の近くを通るたび山の変化を目の当たりにしていましたので、力になれたらと思いすぐに応募!令和4年2月に採用いただいたことをきっかけに米原市へ移住しました。

アクティビティに動ける年代の方には理想的な場所だと感じます!ただ山深い地域だと車がないと移動が難しかったり、冬の雪かきなど体力が必要な面もあります。そういう点では、年配の方には少し大変かもしれません。それでも、自分のライフスタイルに合った場所を見つける米原は、これから移住を考えている方にもオススメしたい場所です。



お弁当販売
【三重県→米原】Uターン
米原歴: 4年目
山本 有香さん

**プロフィール**  
米原市内を中心にキッチンカーでお弁当販売を行う「special good morning (スペシャルグッドモーニング)」の店主。『自分の料理と出会い食べてくれる方が、心から食べる事を楽しめて、ほっこりするようなひと時を過ごしてもらいたい。』そんな想いを込めて活動しています。

私が地元・米原に戻るきっかけは、ホームシックならぬ「琵琶湖シック」でした。米原から三重に移住してから、自分の思い出の中にいつも琵琶湖があつたことに気づき、地元を離れてより一層私の心の支えになっていたことを知りました。

地元に戻ることをふわっと思いつつ、改めてこれから自分の暮らし方ややりたいことってなんだろう?ってこれまでのことを振り返りながら考えたんです。三重では介護施設で調理をしていましたが、そもそもこの仕事を選んだのって地元のおじいちゃん・おばあちゃんが大好きだったからだなとか、自分が作った料理を食べててくれた時に心が温まつなどか。こうして点と点を結んでいくと、地元のお年寄りの方々が食べる楽しみやほっこりする時間を過ごし、笑顔をつなぐ場をつくりたいという気持ちが日に日に強くなっています。

米原に戻つてからは友人や子育てママとの出会いを通じて、地元のお年寄りだけでなく、子育てママやその子どもたちにも、わたしの作るごはんや、心からほっこりするひと時を過ごしてもらいたいと思うようになりました。それで、キッチンカーや市内外のカフェ・アパレルショップでの販売をスタートしたんです。今までこうしてお弁当販売ができるいるのも、地元の温かく優しい人々に支えられているからこそだと実感しています。



グリーンウッドワーク
【青森県→甲賀】Uターン
米原歴: 1年目
仁木 俊文さん

**プロフィール**  
滋賀県野洲市出身の仁木さんは祖父母が住んでいた米原へ青森からUターン。自給自足の暮らしを学ぶ中での繋がりから、現在は生木を使った木工「グリーンウッドワーク」としての生業づくりに励んでいます。

滋賀県野洲市出身で祖父母は旧山東町に住んでいたので、小さい頃から米原に遊びにきており、米原市には親しみがありました。青森では介護の仕事をしていて、その頃から自給自足の暮らしに興味を持ち勉強していました。

当時はスイーツづくりが趣味で、知人と一緒にさまざまマルシェ・イベントに出店をし、お客様との交流も広げながら自分の経験値を上げていきました。この出店を機に、故郷の滋賀に戻つてスイーツを扱つた小商いをしてみたいと考えようになりました。また、滋賀にいる母に孫との時間を作つてあげたいという思いも強くなり、妻と子どもで移住することを決めました。

空き家バンクや情報サイトで物件を探していたところ、滋賀県のお試し移住拠点としても利用されていた物件が自分の理想にぴたりで!大家さんに直接連絡し、晴れて米原暮らしが始まりました。現在、生業づくりのひとつとして「グリーンウッドワーク」に取り組んでおり、実績づくりのひとつとして「生木スプーン100本チャレンジ」に戦中です!チャレンジを達成したら、お皿や器づくりにも挑戦したいです。たくさんの技術や知識を深めながら、ランプシェイドを作れるようになるのが目標です。

